

第2章：三郷市の概況と健康を取り巻く状況

1 三郷市のすがた

※ 2章中の数値については、過去7年間における最新データを掲載しております。
三郷市のデータがない場合は国、県のデータを使用しています。

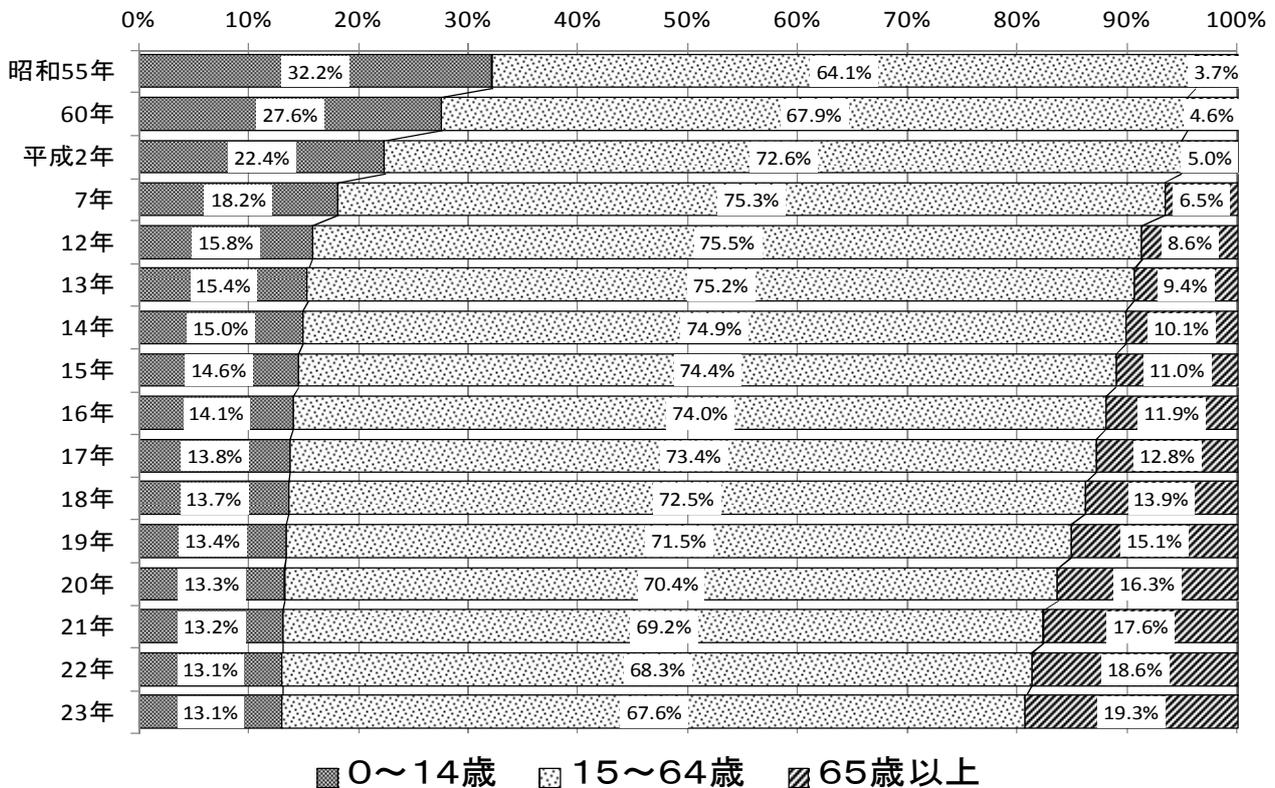
1-1 年齢別人口構成

- 年少人口割合は微減傾向、生産年齢人口割合は減少傾向、高齢者人口割合は増加傾向で少子高齢化が進行中。
- 全国的にも高い生産年齢人口割合、低い高齢者人口割合。

年齢3区分別人口構成を他の都道府県と比較した場合、埼玉県は東京都、神奈川県に続き、生産年齢人口割合(15～64歳)が高く、高齢者人口割合(65歳以上)は43番目で若い県であるといえます。三郷市は、埼玉県各市町村の高齢者人口割合(65歳以上)の順位においても64市町村中50位と、比較的若い市といえます。

しかし、年齢別の人口構成割合の推移をみると、年少人口割合(15歳未満)が減少傾向であるのに対し、高齢者人口割合は増加しており、平成23年には19.3%とほぼ2割となっています。この急速に進展する高齢化が本市の特徴といえます。

図表2-1 年齢別人口構成割合の推移

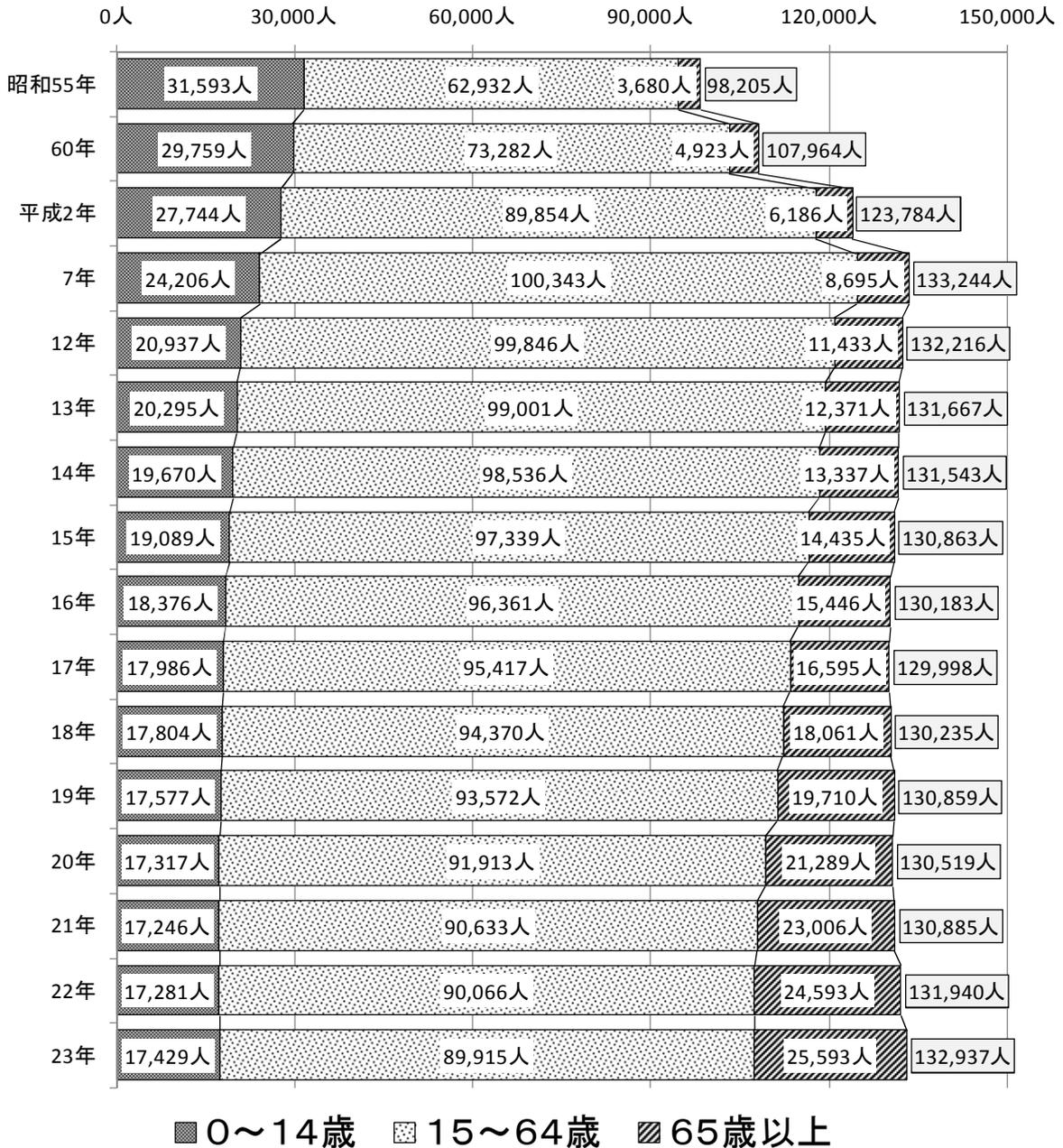


資料: 平成7年まで国勢調査、平成12年以降は県統計課 埼玉県町(丁)別人口調査結果報告(1/1)

※年齢不詳は除く

三郷市の人口推移については、昭和55年から平成2年までの10年間で約2.5万人の増加となったものの、平成7年以降は総人口約13万人を推移しており、横ばいの状態にあります。

図表2-2 三郷市の人口推移



資料: 平成7年まで国勢調査、平成12年以降は県統計課 埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告 (1/1)

※年齢不詳は除く

図表2-3 年齢3区分別人口構成比 全国順位（平成22年）

順位	15歳未満		15～64歳		65歳以上	
	都道府県	割合(%)	都道府県	割合(%)	都道府県	割合(%)
1	沖縄県	17.7	東京都	68.3	秋田県	29.7
2	滋賀県	15.0	神奈川県	66.6	島根県	29.0
3	佐賀県	14.6	埼玉県	66.3	高知県	28.9
4	愛知県	14.4	千葉県	65.5	山口県	27.9
5	福井県	14.0	愛知県	65.3	山形県	27.6
:	:	:	:	:	:	:
24	埼玉県	13.3	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:	:
43	徳島県	12.2	山形県	59.7	埼玉県	20.4
44	高知県	12.2	山口県	59.3	東京都	20.4
45	北海道	11.9	高知県	59.2	愛知県	20.3
46	秋田県	11.4	秋田県	59.0	神奈川県	20.2
47	東京都	11.3	島根県	58.0	沖縄県	17.4

資料:総務省 人口推計 平成22年10月1日現在人口

図表2-4 高齢者割合県内順位（平成23年）

順位	65歳以上	
	市町村	割合(%)
1	東秩父村	30.4
2	長瀨町	29.1
3	小鹿野町	28.6
4	皆野町	28.1
5	秩父市	26.7
:	:	:
49	越谷市	19.4
50	三郷市	19.3
51	志木市	19.2
52	草加市	19.1
53	松伏町	19.0
54	さいたま市	18.7
55	八潮市	18.7
:	:	:
60	吉川市	17.0
:	:	:
62	朝霞市	16.1
63	和光市	14.1
64	戸田市	13.8
	県	20.0

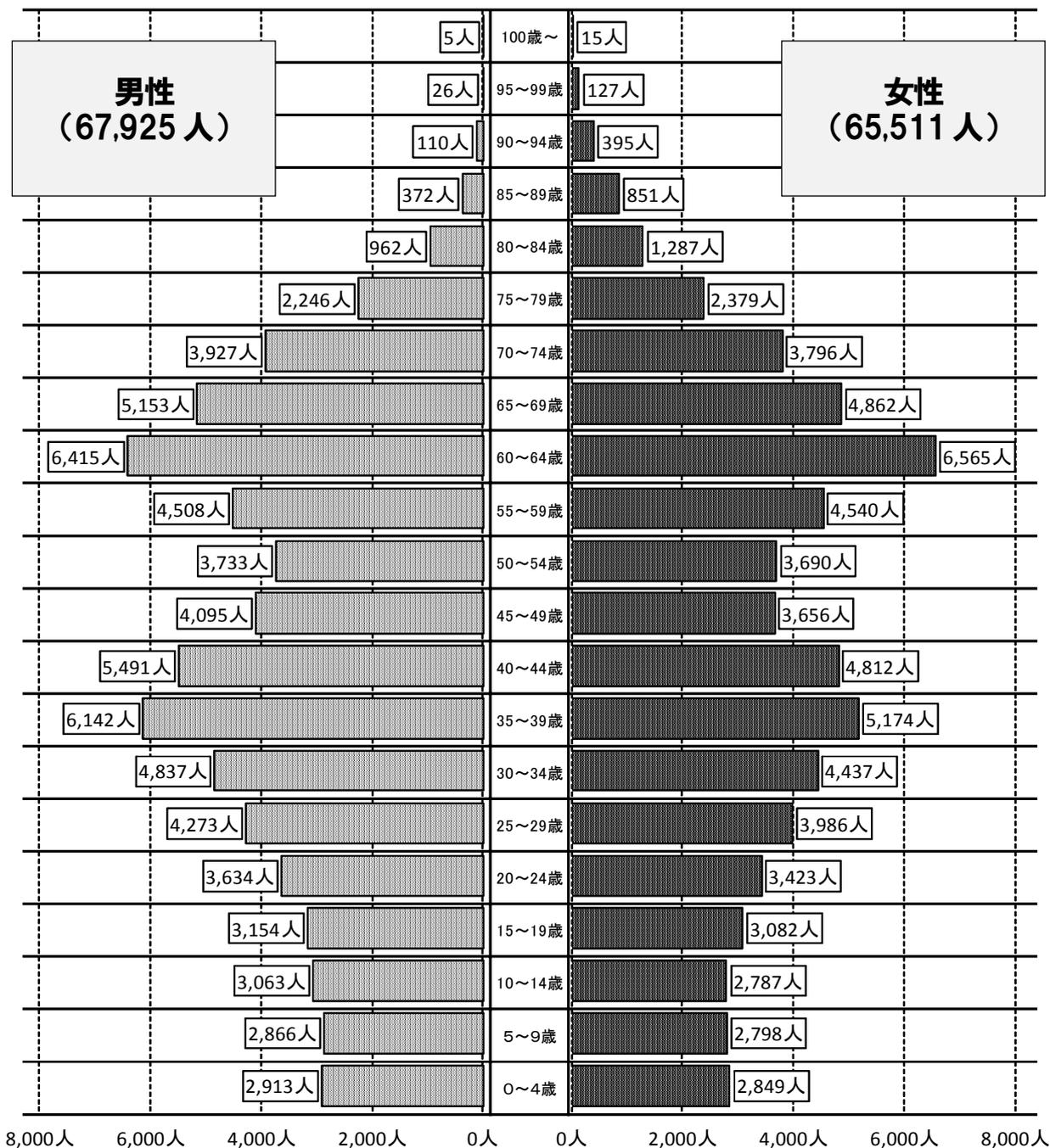
資料:県統計課 埼玉県町(丁)字別人口調査 平成23年1月1日現在 第3表

1-2 人口ピラミッド

●5～10年後には高齢者数の大幅な増加。

平成23年10月1日時点での人口ピラミッドをみると、年少人口が少なく、不安定な「ひょうたん型」となっています。加えて、年齢構成が高齢化している様子がうかがえるとともに、5年以内には「団塊の世代」(昭和22～24年生まれの第一次ベビーブーム世代)が65歳以上となり、高齢者数の大幅な増加が予測できます。

図表2-5 人口ピラミッド



資料:三郷市住民基本台帳及び外国人登録(平成23年10月1日現在)

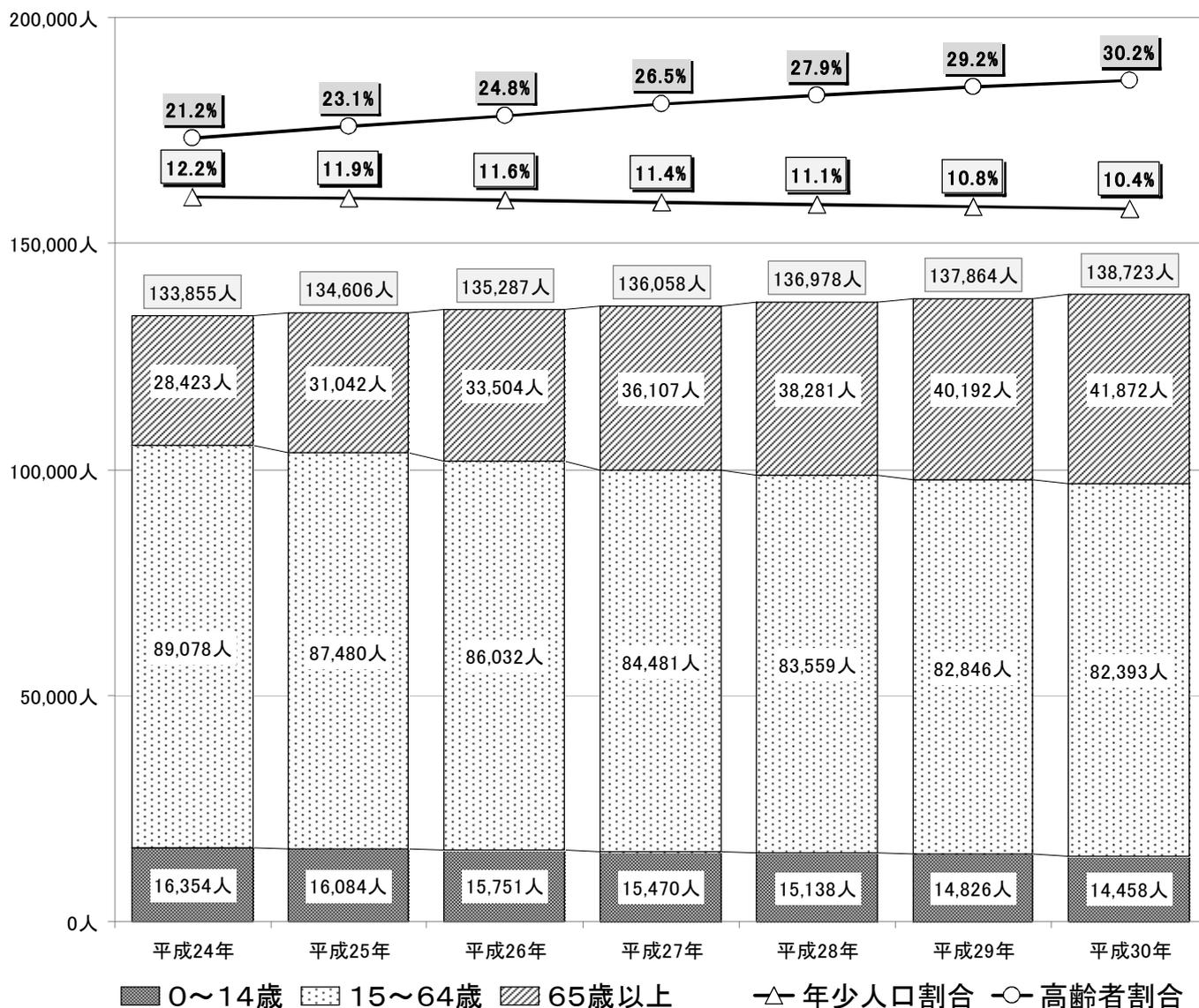
1-3 将来推計

●高齢者数は急増。平成27年には4人に1人が高齢者。

第4次三郷市総合計画における人口推計によると、三郷市の将来人口は、ほぼ横ばいで推移するものの、内訳をみると、65歳以上の高齢者数は増加傾向にあるのに対して、0～14歳の年少人口、15～64歳の生産年齢人口はともに減少傾向を示しています。

そのため、高齢化率は上昇傾向を示しており、平成30年には30.2%まで上昇するものと推計されています。

図表2-6 将来人口



資料: 第4次三郷市総合計画推計人口データ

1-4 自然動態

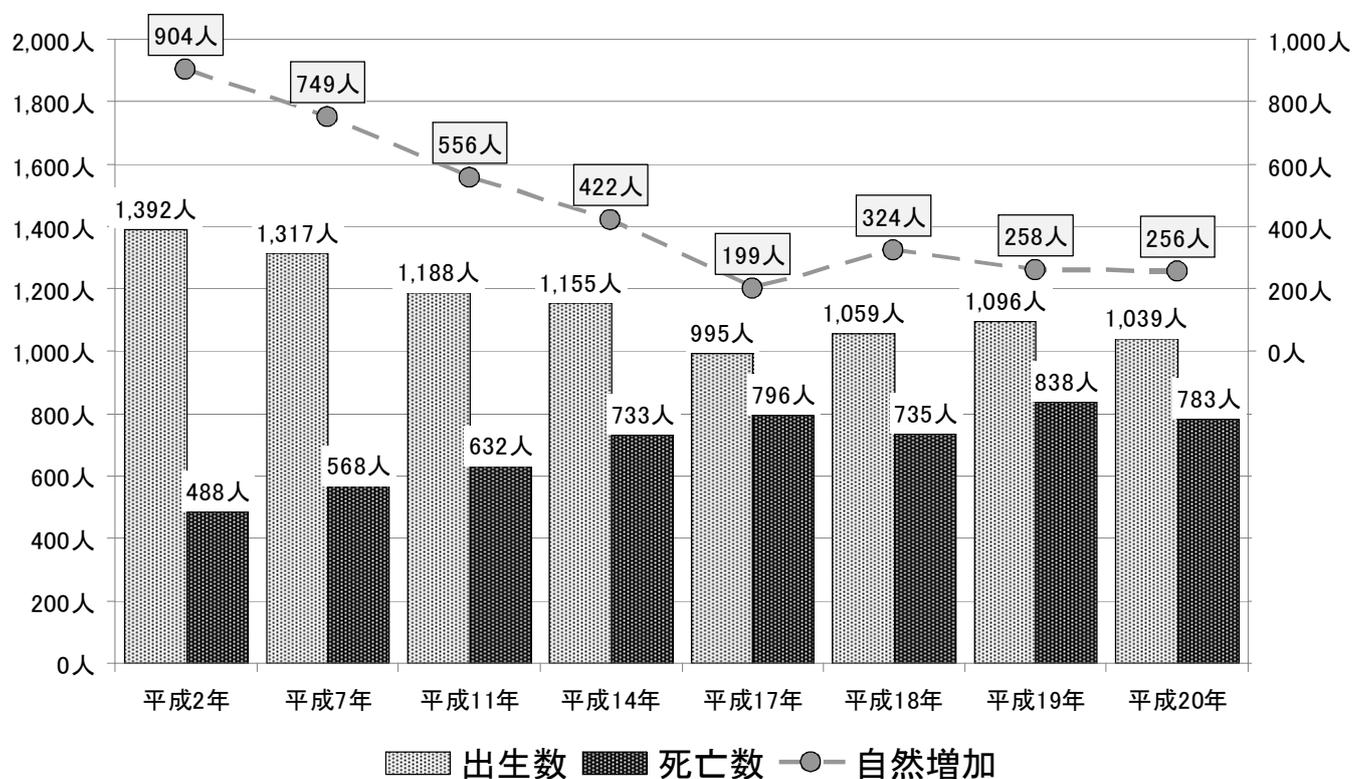
●出生数が死亡数を上回り、自然増。近年の増加幅は、ほぼ横ばい。

三郷市の出生数と死亡数の推移をみると、出生数は平成17年まで減少傾向を示し、以降はほぼ横ばいとなっています。死亡数は平成17年まで増加しており、以降はほぼ横ばいとなっています。出生数が死亡数を上回っているため、自然増となっていますが、増加数は平成18年以降はほぼ横ばいとなっています。

出生率は全国的に減少しており、平成17年以降は、ほぼ横ばいで推移しています。三郷市でも同様の傾向を示していますが、埼玉県の前より低い水準で推移しています。

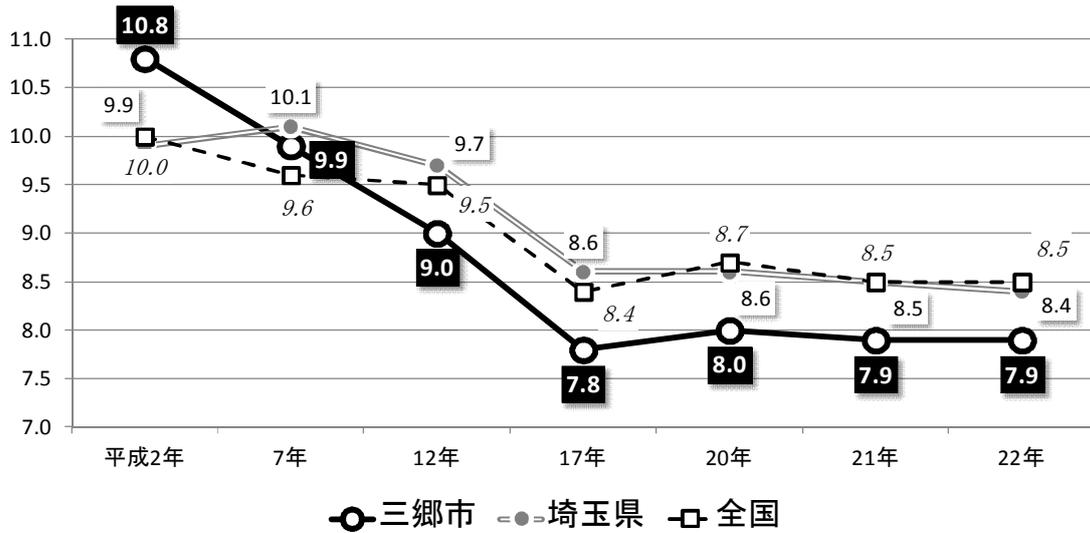
死亡率は全国的に増加傾向にあり、三郷市でも同様に増加していますが、埼玉県の前よりは低い水準で推移しています。

図表2-7 出生・死亡数の推移



資料: 県統計年鑑

図表2-8 出生率比較



資料:平成2年から平成20年までの市・県については県統計年鑑
 平成2年から20年までの国については厚生労働省人口動態調査
 平成21年の市・県・国については「保健年報(平成22年度)(三郷市)」
 平成22年の市・県・国については草加保健所「保健所年報 平成23年度版」

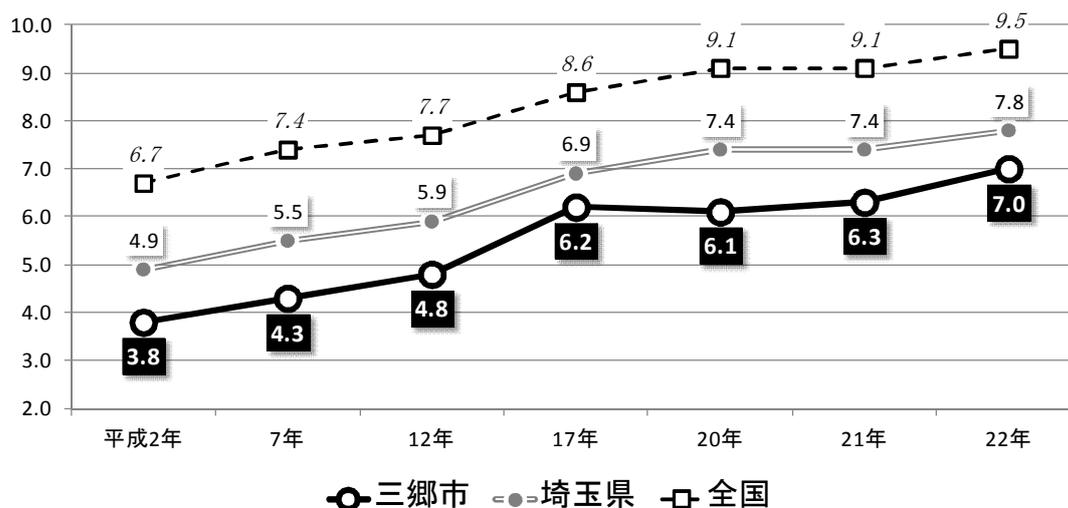
図表2-9 出生率順位

(人口1,000人あたり)

順位	全国		順位	埼玉県内	
	都道府県	出生率		市町村	出生率
1	沖縄県	12.3	1	戸田市	11.4
2	愛知県	9.6	2	和光市	11.1
3	滋賀県	9.6	3	伊奈町	10.9
4	福岡県	9.3	4	朝霞市	10.5
:	:	:	5	八潮市	9.5
:	:	:	:	:	:
:	:	:	12	吉川市	8.7
:	:	:	:	:	:
:	:	:	16	越谷市	8.6
:	:	:	17	草加市	8.5
19	埼玉県	8.4	:	:	:
:	:	:	22	三郷市	7.9
:	:	:	:	:	:
:	:	:	50	松伏町	6.4
:	:	:	:	:	:
44	北海道	7.3	61	吉見町	4.7
45	高知県	7.2	62	ときがわ町	3.9
46	青森県	7.1	63	鳩山町	3.6
47	秋田県	6.2	64	東秩父村	3.6
	全国	8.5		埼玉県	8.4

資料:都道府県は厚生労働省「平成22年の人口動態統計(確定数)」
 県内市町村は「平成22年埼玉県の人口動態概況(概数)」

図表2-10 死亡率比較



資料:平成2年から平成20年までの市・県については県統計年鑑
 平成2年から20年までの国については厚生労働省人口動態調査
 平成21年の市・県・国については「保健年報(平成22年度)(三郷市)」
 平成22年の市・県・国については草加保健所「保健所年報 平成23年度版」

図表2-11 死亡率順位

(人口1,000人あたり)

順位	全国		順位	埼玉県内	
	都道府県	死亡率		市町村	死亡率
1	秋田県	132	1	東秩父村	182
2	高知県	128	2	皆野町	164
3	島根県	128	3	長瀨町	148
4	山口県	12.1	4	小鹿野町	14.7
:	:	:	5	横瀬町	13.5
:	:	:	:	:	:
:	:	:	42	松伏町	7.4
43	東京都	8.1	:	:	:
:	:	:	44	八潮市	7.3
:	:	:	:	:	:
:	:	:	53	三郷市	7.0
:	:	:	54	越谷市	7.0
:	:	:	:	:	:
:	:	:	57	吉川市	6.7
:	:	:	58	草加市	6.6
:	:	:	:	:	:
44	愛知県	8.1	61	戸田市	6.0
45	埼玉県	7.8	62	朝霞市	5.7
46	神奈川県	7.6	63	伊奈町	5.6
47	沖縄県	7.3	64	和光市	5.0
	全国	9.5		埼玉県	7.8

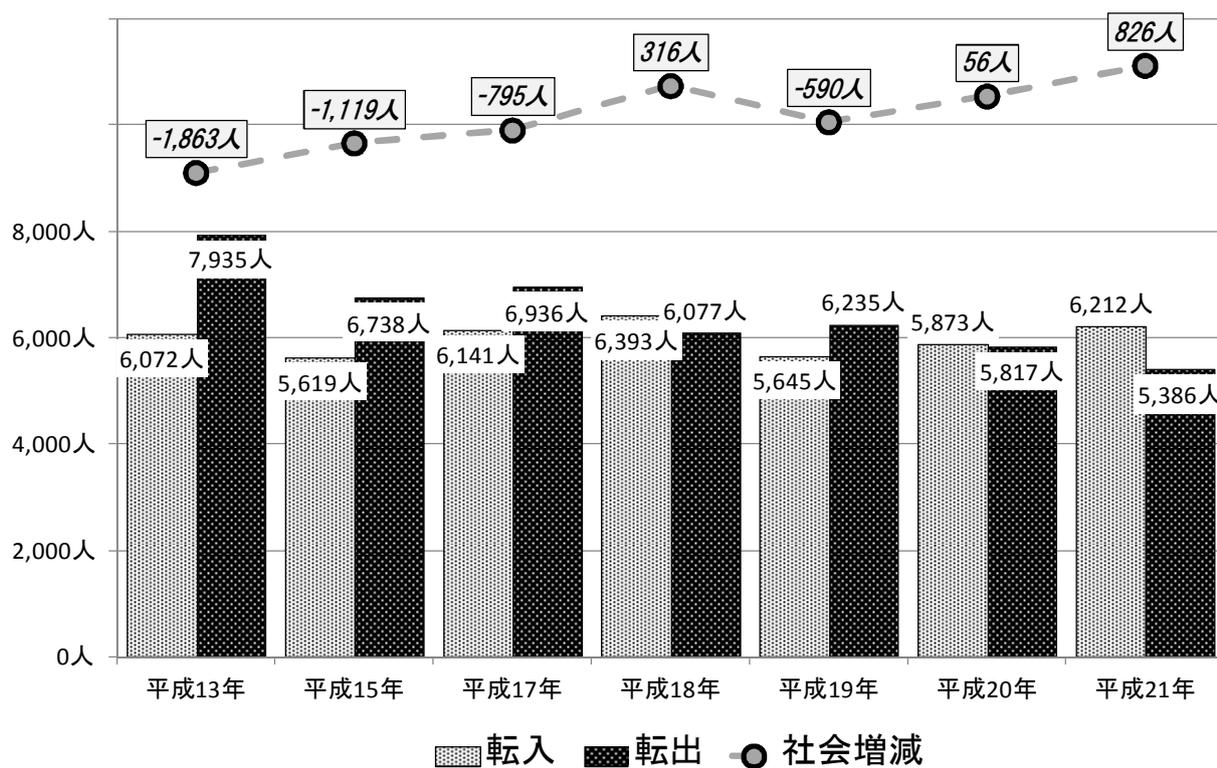
資料:都道府県は厚生労働省「平成22年の人口動態統計(確定数)」
 県内市町村は「平成22年埼玉県の人口動態概況(概数)」

1-5 社会動態

●平成20年以降は社会増減はプラスに転じ、平成21年には800人以上の社会増。

転入数と転出数の推移をみると、平成19年までは概ね転出数が転入数を上回り、社会増減がマイナスで推移していましたが、三郷中央地区、インターA地区、新三郷駅周辺地区開発により、平成20年以降は転入数と転出数が逆転し、平成21年には826人の社会増となっています。

図表2-12 転入・転出数の推移



資料: 県統計年鑑

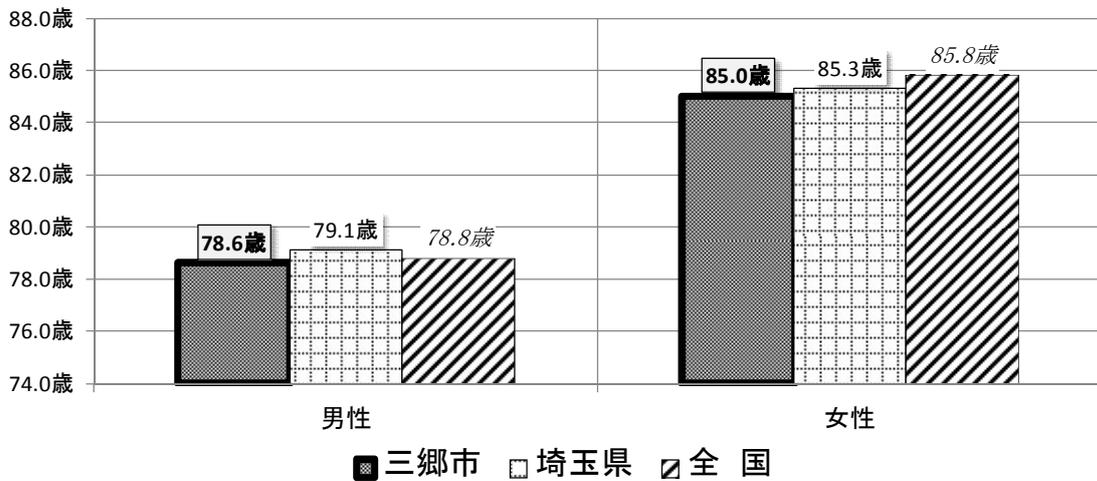
1-6 平均寿命

●男女とも、全国、県と大差ない。

平成 17 年のデータを基にした平均寿命(0歳がその後何年間生きられるかを死亡率等をもとに算出した期待値)では、男性 78.6 歳、女性 85.0 歳となっており、全国や埼玉県の数と比較しても大差ないものでした。

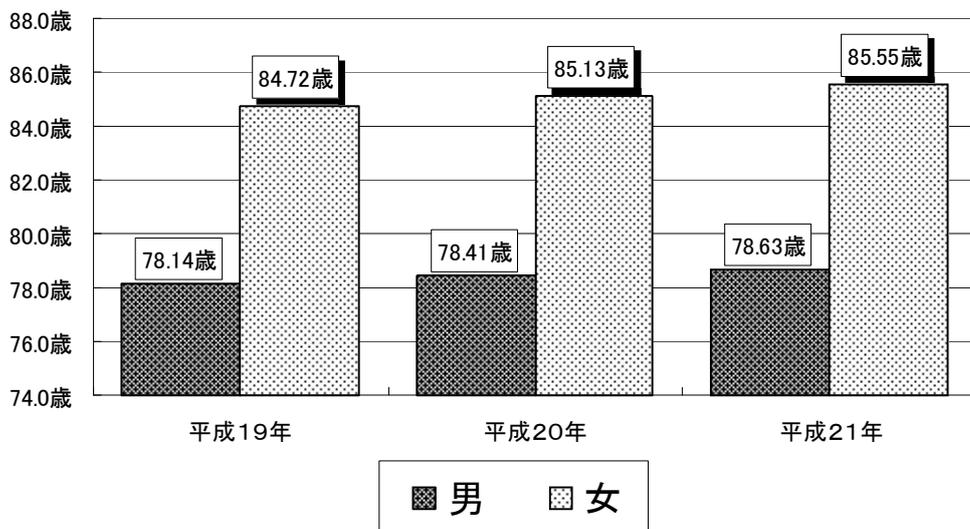
平成 19 年以降の三郷市の平均寿命の推移をみると、平成 21 年にかけて男女ともわずかながら平均寿命が延びています。

図表 2-13 平均寿命



資料:厚生労働省 平成 17 年 簡易生命表

図表 2-14 三郷市平均寿命(0歳平均余命)



資料:埼玉県の健康寿命算出ソフト